

編 集 後 記

(61巻 第5号 2015年5月)

皆さんは「2045年問題」というのをご存知だろうか。コンピューターチップの性能が1.5年毎に2倍になると予測した「ムーアの法則」に基づくと、2045年にはコンピューターの性能が人間の脳を超えるという。コンピューターが人間を超えることを「技術的特異点」と呼び、それ以降は人間にとって予測の出来ない世界になるという。その後はいったいどうなるのか。コンピューターが監視とマインドコントロールの技術を用いて世界を支配するようになるという「影の支配者仮説」。反旗を翻したコンピューター対人間の戦争が勃発するという「聖戦の勃発仮説」などの仮説が立てられている。

もう囲碁も将棋もコンピューターは人間を超えるレベルに達している。またコンピューターチップの性能も「ムーアの法則」に添って向上しているというから、まったく荒唐無稽の話でもない。医学・医療の世界はどうなっているのだろう。私はこの世にいない可能性が高いので心配する必要はないのだが…。

(小川 修)